

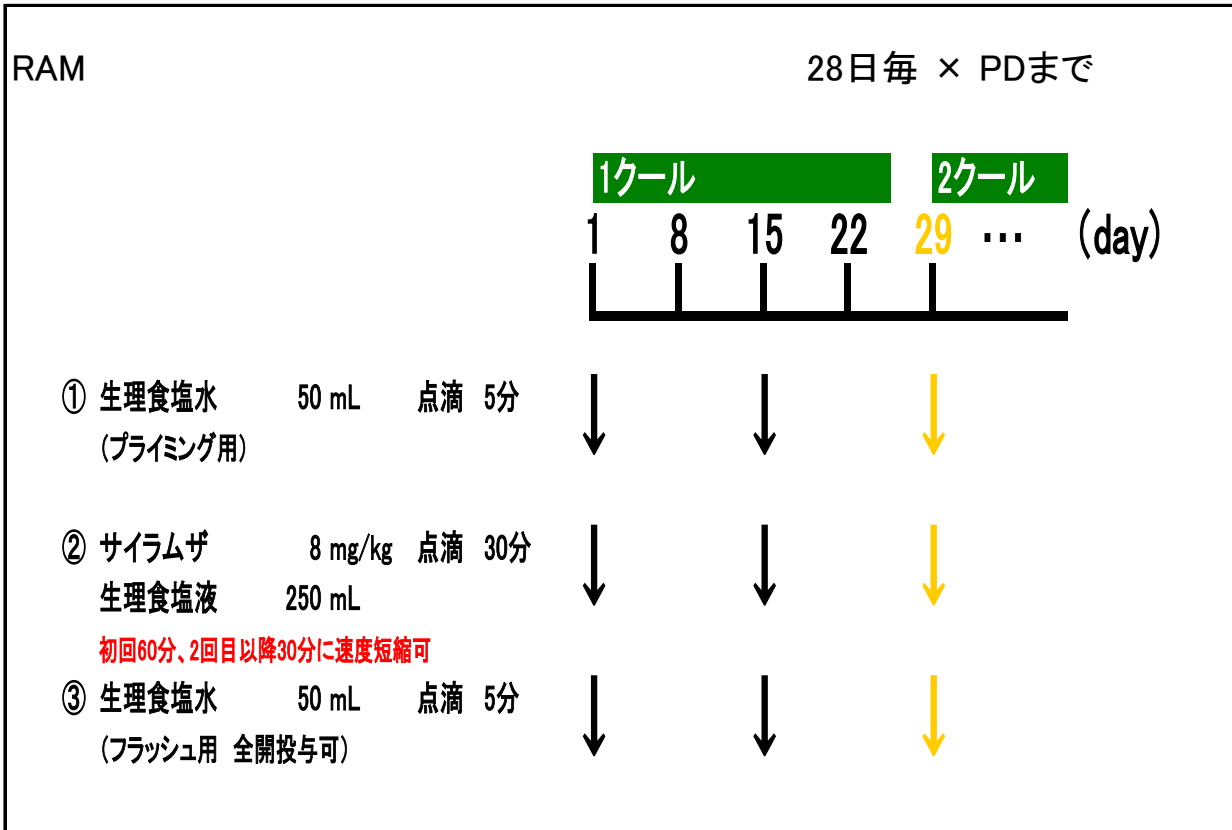
登録日 2015/6/22

レジメン名 Gas022

腫瘍名 胃がん

申請医師 消化器内科

投与スケジュール



注意事項

- 胃癌二次治療から適応可能。
- Grade1, 2のインフュージョンリアクションが出現した際、カロナールの追加やデキサートの増量、減速なども考慮する。
- サイラムザの溶解液は生食のみ使用(ブドウ糖と配合変化あり)。フィルターを使用する。**
- サイラムザは室温保存(30℃以下)では4時間以内、冷所保存(2~8℃)では24時間以内に使用する。
- サイラムザには創傷治癒遅延作用があり、**創傷治癒に影響する合併症の際には使用を中止**する。
- 減量、休薬基準(サイラムザ)
 - 高血圧: 症候性のGrade2、Grade3 はサイラムザを休薬する。
 - 蛋白尿: 1日蛋白尿2g以上は休薬。初回発現して再開時は6mg/kgへ減量、2回目発現後の再開時は5mg/kgに減量。1日蛋白尿3g以上又はネフローゼ症候群は投与中止。

参考文献

- 1) Charles S Fuchs, *et al*, Ramucirumab monotherapy for previously treated advanced gastric or gastro-oesophageal junction adenocarcinoma (REGARD): an international, randomised, multicentre, placebo-controlled, phase 3 trial, *Lancet*, **383**, 31-39 (2014).
- 2) サイラムザ添付文書
- 3) サイラムザ総合製品情報外用